

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】（中学校用）

都道府県名	兵庫県
-------	-----

学校の概要（平成15年4月現在）

学校名	芦屋市立精道中学校					
学 年	1年	2年	3年	障害児学級	計	教員数
学級数	5	5	5	3	18	31
生徒数	171	170	188	7	536	

研究の概要

1. 研究主題

自ら学ぶ意欲を持ち 進んで学習する生徒の育成

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

1学年	数学科で全5クラスで各クラスとも2グループに分け、少人数指導 生徒の理解の状況に差がしやすい教科である。初期の段階でのつまづきを少なくするとともに基礎学力の定着を図るため。
3学年	英語科で全5クラスで各クラスとも2グループに分け、少人数指導 内容によって、複数指導 3年では学力差が大きくなり、理解困難な生徒へのサポートを目的として個に応じた、学力を伸ばす指導支援を実施。

(2) 年次ごとの計画

平成14年度	<p>テーマ「自ら学ぶ意欲を持ち 進んで学習する生徒の育成」</p> <p>1学年数学科で少人数授業実施し、基礎学力の定着を図る。 3学年英語科で取り入れ、特に音読時を重点とした。</p> <p>研究の内容・方法 公開授業研究会、保護者授業参観、授業研究週間を年間計画に位置付け取り組んだ。研究会では、講師を招聘し研究を深めた。</p>
--------	--

平成15年度	<p>テーマ「自ら学ぶ意欲を持ち 進んで学習する生徒の育成」</p> <p>1学年数学科で少人数授業実施し、基礎学力の定着を図る。 3学年英語科で取り入れ、特に音読時を重点とした。</p> <p>○ 研究の内容・方法 公開授業研究会、保護者授業参観、授業研究週間</p>
--------	---

平成16年度	<p>テーマ「自ら学ぶ意欲を持ち 進んで学習する生徒の育成」</p> <p>1学年数学科で少人数授業実施し、基礎学力の定着を図る。 3学年英語科で取り入れ、特に音読時を重点とする。</p> <p>研究の内容・方法 授業研究会、授業参観、授業研究週間</p>
--------	--

* 平成15年度からの新規校については、平成15、16年度の計画について記入すること。

(3) 研究推進体制

- * 新学習システム委員会・学力向上フロンティア事業と校務分掌に位置付けている。
 - ・ 構成員（校長、教頭、推進担当、研究推進担当、教育課程担当）
- 推進体制として、システム推進担当者の中に陥りやすいので、研究推進、教育課程推進担当者も構成員として位置付けた。
- ・ 学期1回を定例とし、必要に応じて随時開催している。

平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

- ・ 生徒一人に接する時間が必然的に多くなり、指導を細かく丁寧にすることができた。
- ・ 生徒と教師の距離が自然と近くなり、質問等発言も多くなってきている。
- ・ 生徒個々のつまづきを早期に発見できた。
- ・ 課題に対する机間巡視による個別指導が、説明を繰り返しながら次の課題を出せるという形態が取れた。

2. 今後の課題

- ・ 今まで以上に教師間の綿密な打合せが必要である。現状ではなかなか時間を取りにくく、目前に迫る進度のことに終始することが多い。
- ・ 教科部会を定例開催し、指導法や内容等を含め学年間交流するとともに、系統性等についても再点検していく必要がある。

学力把握のための学校としての取組

- ・ 授業時間中の評価の時間。
- ・ 各自のノート点検、自己評価表や点検表、小テスト等により基礎学力の確実な定着を図る。
- ・ 英語科において、AETと協力し音読、会話練習他、基礎学力定着の演習実施。

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- * 保護者への理解を図る意味で、授業参観（土曜参観含む）、公開授業研究会、授業研究週間をベースとして、研究をすすめてきた。生徒及び保護者へのアンケートも実施し、少人数授業の形態や様子について意見や感想を求めた。生徒・保護者とも今の形を継続する旨の意見が多かった。指導者の立場としても、生徒のつまづきを早期に発見でき、確かなフォローができ教育的効果が上がる。
- * 他校の授業公開を参観し、平生の授業に生かす。

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。（複数チェック可）

【新規校・継続校】	15年度からの新規校	14年度からの継続校		
【学校規模】	3学級以下	4～6学級		
	7～9学級	10～12学級		
	13～15学級	16学級以上		
【指導体制】	少人数指導 その他	T・Tによる指導		
【研究教科】	国語	社会	数学	理科
	外国語	音楽	美術	技術・家庭
	保健体育	その他		
【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】		有	無	